

地方創生加速化交付金・地方創生推進交付金のK P I の実績について

国の地方創生加速化交付金と地方創生推進交付金を活用し、平成28年度から下記の3事業を実施している。また、実施にあたっては、目標値であるKPI(重要業績評価指標)を設定し、その達成に向けて取り組んでいる。

平成28年度は、7指標全てで目標を達成することができた。

事業名	番号	内容	単位	区分	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年後の達成状況	達成率	成果・評価	担当課
○加速化交付金【単独】 遠野市中心市街地再生を基軸とした生涯活躍のまちづくりプロジェクト～遠野BREW 遠野物語第2章～	1	新規起業・創業創出数	件	目標数値	1	-	-	6				平成28年度に、一日市通りの空き店舗を活用して、起業家育成及び移住・定住に取り組む会社が設立された。 その会社のコーディネートのもと、遠野ローカルベンチャー事業が展開されており、31年度までに6件の起業を目指す。	本庁舎建設室
				実績値	1								
	2	生涯活躍事業に関連する雇用者数	人	目標数値	1	-	-	20				遠野ローカルベンチャー事業によるチャレンジショップで3人の雇用が創出された。 同事業による起業により、31年度までに20人の雇用創出を目指す。	本庁舎建設室
				実績値	3								
	3	福祉関連施設の整備	件	目標数値	0	-	-	3				多様なコミュニティの集積による中心市街地の活性化、移住者による新たな目線での地域資源を活用した商品開発などの産業振興・雇用創出をするとともに、高齢者や障がい者が生涯現役で社会に参画できる居住スペースや活動機会を確保し、誰もが健康でアクティブに生活できる生涯活躍のまちの実現に向け、3件の福祉関連施設の整備を目指す。 平成28年度は高齢者組織によるサロンが空き店舗を活用して設立された。	本庁舎建設室
				実績値	1								
	4	空き家、空き店舗等の利活用	件	目標数値	1	-	-	10				少子・高齢化、人口減少に伴う空き家・空き店舗等の増加による中心市街地の空洞化が課題となっているため、生涯活躍のまちの実現を目指しながら10件の空き家、空き店舗の利活用を目指す。 平成28年度は、起業家育成及び移住・定住に取り組む会社及び高齢者組織によるサロンが空き店舗を活用して設立された。	本庁舎建設室
				実績値	2								
○加速化交付金【広域】(花巻市・平泉町・遠野市) 地方観光の稼ぐ力を強化する体験型事業の創出と広域的連携	5	体験型事業数	事業	目標数値	2	-	-	2			花巻市、平泉町との広域連携により、県南地域を訪れた観光客が気軽に且つじっくり体験いただけるメニュー構築を目指してきた。 本市では、体験型事業として、新規に伝承園の裂き織り体験と柏木平レイクリゾートでのマウンテンバイクの2事業を実施し、新たな観光客を誘客することができた。	商工観光課	
				実績値	2								
	6	当該体験型事業への総参加客数	人	目標数値	200	-	-	200			裂き織り体験は182人、マウンテンバイク利用は70人で計252人の参加をいただいた。 また、広報宣伝手法の研修を行い、新たな体験メニューの発見、効果的な宣伝方法、広告・チラシの見直し等について勉強したことから、今後の取組みに活かしたい。	商工観光課	
				実績値	252								
とおのもの・こころ海外経済交流プロジェクト	7	遠野市の特産品等海外取引額	千円	目標数値	300	1,000	1,500	1,800	2,000		台湾で高級スーパーマーケットを展開する裕毛屋企業股份有限公司に市長がトップセールを行い、平成28年11月15日に「地方創生の連携に関する協定」を締結。遠野の特産品の販路開拓が図られた。 この協定に基づき、平成29年2月24日から26日まで「岩手・遠野物産展」を台湾・台中市のスーパーマーケット裕毛屋で開催し、遠野の特産品を台湾でPRできた。 また、商工業チャレンジ広域事業費補助金事業として、市内でどぶろくを製造する事業者がスペインでの商談会に出展し、バルセロナのレストランとの取引につながった。	農家支援室	
				実績値	845								